

よくわかるIPネットワーク

株式会社ジャバテル 代表取締役 佐々木宏至

本稿は10月30日に執筆している。昨日まで仙台でインフラ系プラント・セキュリティの仕上げをしてきた。弊社ジャバテルの納入先は政府系および重工業系が相当数を占めている。共通して求められる使命は生命と財産の保全に直結した仕様だ。つまり、イベント・アクションからの警報が主体となっている。たぶんこのレベルが真のセキュリティとしてのボーダーラインと考えている。しかし、現実の入札では未だにこんなものが出回る。

AC100V、1/4 CCD 38万画素、被写体感度0.01Lux(20IRE)、IP66、光学ズーム 22倍、以下省略。この仕様は明らかにアナログPTZカメラである。ここまでなら許容範囲、しかしそうは問屋が卸さないのである。カメラはRBSS認定品との記載、つまり公益社団法人日本防犯設備協会の認定品カメラを使えということだ。アクシス社やボッシュ社など外資系は1社も加盟していないし、認定も受けていない。国の機関がこれをやるとWTOに違反することになる。ただし、PSEマークと技適の認定制約はWTOで一応了承されている。この仕様で呆れ果てるのは、RBSS認定品指定とメーカーのエゴ丸出しの在庫処分仕様ということだ。この仕様に対して弊社はどうするか? カメラは1.3MのIP仕様のPTZで提出する。

Genetec Inc.およびMOBOTIX AGは、テクノロジーの統合提携を発表

このパートナーシップを通じて、Genetecセキュリティセンター統一プラットフォームは、シームレスにMOBOTIXの高品質IPカメラを統合する。2016年9月22日、オープン・アーキテクチャのリーディング・プロバイダであるGenetec社と、統一されたIPセキュリティ・ソリューションおよび映像監視機器のドイツのメーカーであるMOBOTIX AG(「MOBOTIX」)とは、研究開発、テスト、ビジネス開発、新規および既存の企業顧客のための販売支援に協力する技術の関係を樹立したと発表した。両社は、柔軟なセキュリティ・ソリューションを提供する品質、信頼性、優れた顧客サポート、そして卓越した専門知識により、世界的に高評価を得ている。

この噂は聞いていたが、正に「時代は動いていく」だ。少し前までは考えられなかったことだ。

少し早い、2017年の日本市場動向を予測

■クラウド

クラウドに関してはそれほど成長しないだろう。NVR大好きな日本市場では、コスト的メリットをほとんど見いだせないからだ。本格的なサーバを運用していくこととの対比でなければ、クラウドのメリットは追求しにくいだろう。

■アナログマーケット

アナログHDが急成長する可能性が高い。その理由は、各社からPoC(同軸電源重畳)が供給され出したからだ。しかし、一定数は既設更新でIP化の方向に向かうだろう。

■IP市場の成長

こちらは、かなり顕著になっていくと考えられる。その理由は、設置台数の規模が増加傾向にある。1対1のケーブル敷設であるアナログ系では最大32カメラ程度が限界であり、しかも単なるレコーダの単機能しか提供できない。警備会社のニーズでは人件費削減が必須の課題であり、IPカメラのインテリジェント性は外せなくなりつつある。画像分析の品質向上と低価格化はIPカメラのみが提供できる。

■画像分析

この分野ではNVidia / Google / Intel / Microsoftがこのマーケットにリーチ(研究レベルだが)している。2017年後半までには驚嘆すべきサービスとプロダクトが発表されるだろう。

2017年ジャバテルのラインナップとロードマップ。

■Genetec Security Center 大規模マーケット

- ◆従来のOMNICAST4.8で提供してきたSDKで設計されたIODEPパッケージをSecurity Centerに移植する。

■Docokame@VSS エントリーレベルから中規模分散システム

- ◆インテリジェント・モーション
- ◆顔検知と顔認識
- ◆スマートフォンでのネイティブ動作

■Docokame@VMS メディア・ストリーミング市場の多様化とビジネス効率化ツール

- ◆HTML5ビデオに対応した新バージョンのリリース

■画像分析の取り扱いブランド

- ◆AXIS社 BOSCH社 AllGoVision社 ACIC社 KiWiSecurity社

■医療向けの新ブランド MEDRECの立ち上げ

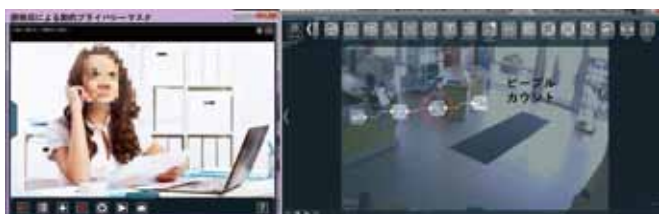
■ネットワーク機器製品 自社ブランドによる高信頼性POE L2スイッチのリリース

取扱製品 Planet社 AXIS社 BOSCH社 Hikvision社
IONODES社 TRUEN社 VIVOTEK社

■Docokame@VSS エントリーレベルから中規模分散システム

- ◆インテリジェントモーション
- ◆顔検知と顔認識
- ◆スマートフォンでのネイティブ動作

追加された新機能:



動的プライバシーマスク(顔検知された顔を動的にマスクします) / ピープルカウント / メタデータオーバーレイ(HTTPマーキングと POS 統合) / OpenVPNのサポート / ヒートマップ / 煙検知 / 置き去り検知 / サーバーとクライアント間のTLS保護された接続 / 音声検知 / マルチプルeMap / LDAP、Active Directoryの同期 / カメラのSDカードとの同期 / 動体の停止検知 / RTSPリダイレクター

面白い製品

■AXIS社からドアステーションA8105-Eがリリース

本製品は12V 350mAの電力を供給出来るため、この製品単独でドア制御も可能になる。映像はフルHD、SIPにも対応している。

■オフサイトカメラ管理

iOS、Android、GoPro、SONY、Panasonic、JVC、Action Camなど。これからのビジネスではビデオ・マーケティングは重要な要素だ。Genetec Security Centerならこれらのカメラをメタデータ管理して保存する。

カメラのエンコーディング設定(前回解説の続編)

監視カメラ管理ソフトウェアの設定機能とは切り離して説明する。カメラのエンコーディング設定は意外なほど間違いが多いのが実際である。設定要素として、解像度、フレームレート、CBR/VBR、帯域設定、品質、キーフレーム周期がある。解像度の選択は特に問題になる事はないだろう。それ以外の設定は十分な理論建てが必要だ。

設置場所環境に応じた設定を心掛ける。

1) 屋内設置で照度変化はほとんどなく、それ程多人数の動きがない

これが一番簡単でどんな設定でもまず破綻しないだろう。必要なフレームレートを設定してVBRにする。この時の実際のビットレートを観測する。映像品質を調整してもっとも理想的なポイントを選択する。この時の実際のビットレートが設計ビットレート以内であれば、VBRをCBRに変更して観測したビットレートから10%程度カットして設定する。

2) 屋内設置で夜間照度は0Luxまで低下、それ程多人数の動きがない

IRなしのカメラでは0Luxでは何も映らない。何も映らないのがまずい場合はIR付のカメラを選定する。

設定は条件の悪い状態で実施する。必要なフレームレートを設定してVBRにする。この時の実際のビットレートを観測する。映像品質を調整して最も理想的なポイントを選択する。この時の実際のビットレートが設計ビットレート以内であれば、VBRをCBRに変更して観測したビットレートから10%程度カットして設定する。

3) 屋内設置で照度変化がほとんどなく、多人数の往来がある

4) 屋内設置で夜間照度が0Luxまで低下し、多人数の往来がある

5) 屋外環境で多人数の動きがない

6) 屋外環境で多人数の動きがある

7) 上記1)~6)がPTZカメラの場合

以上の環境条件に合わせた設定方法の詳細は次号で解説する。

少々早いです、良いお年をお迎えください。そして来年も

よろしく願い申し上げます。



Docokame@VSS



- 1) カメラに依存しないインテリジェンス動体検知
 - 2) マルチサーバー統合機能を標準搭載
 - 3) 設定はモジュラーデザインアーキテクチャーを搭載
 - 4) Windows、Linux、Mac OS、Androidで動作
 - 5) ほとんど全てのIPカメラ、USBカメラ、キャプチャーカード
 - 6) ローコストライセンス 1カメラ MSRP 2,499円から
- 供給方法 アプライアンスでのみ、弊社サイトB to B (代理店契約必要)
B to C Amazon Yahooショッピング

株式会社ジャバテル

www.javatel.co.jp

専門サイト nvr.jp ipcam.tv



本社 〒530-0041 大阪市北区天神橋 2- 北 1-21 八千代ビル東館 3F

TEL 06-6354-0100 FAX 06-6136-1155

支店 〒130-0011 東京都墨田区石原 1-41-4 TKビル 3F

TEL 03-6658-8726 FAX 03-5637-7834